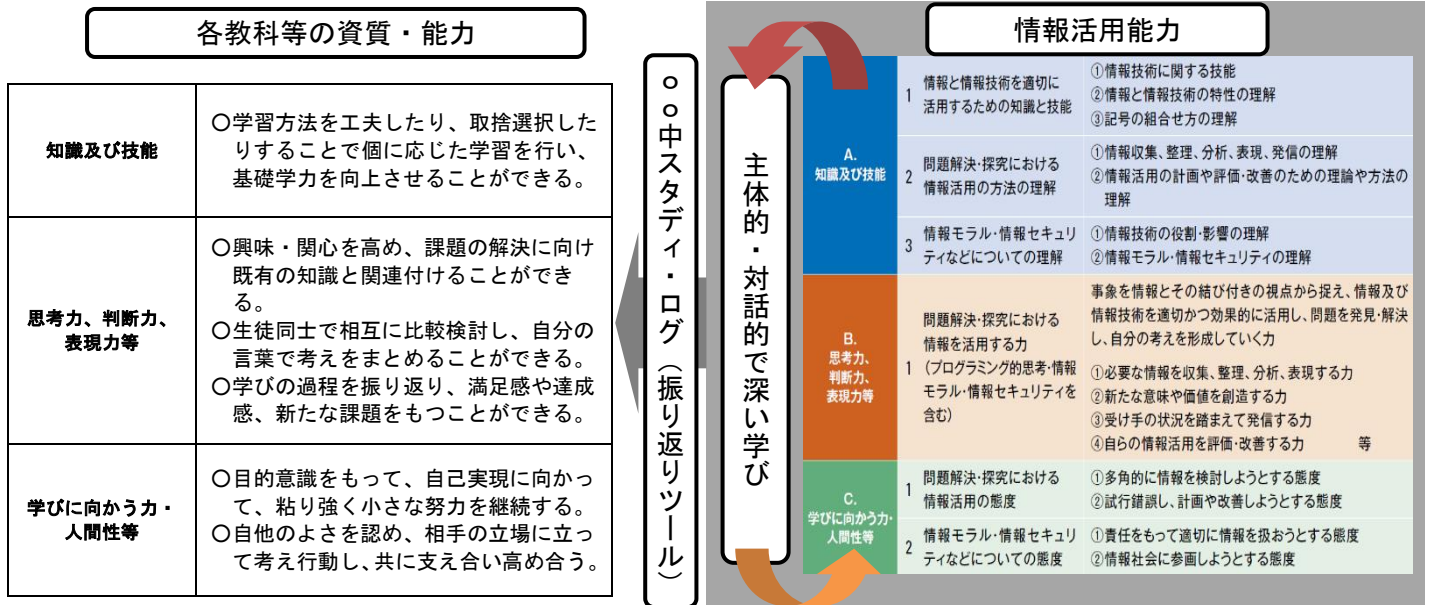


<情報活用能力と各教科等で育成を目指す資質・能力の関係>



<情報活用能力育成のための想定される学習内容と各教科等の学習内容の関係>

	想定される学習内容	各教科等の学習内容
基本的な操作等	キーボード入力やインターネット上の情報の閲覧など、基本的な操作の習得等に関するもの 等	【1年家庭】ロイロノートで調理レポートを作成し、提出する。 【2年英語】ロイロノートに音読練習を録画し、提出する。 【3年美術】ペイント3Dを使い、写真を加工・合成して作品を制作する。
問題解決・探究における情報活用	問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への見通しをもつことができる等、問題解決・探究における情報活用に関するもの 等	【1年体育】ロイロノートで自身のマット運動の様子を録画し、自分を客観視しながら課題解決を行う。 【2年音楽】ロイロノートの音源を聞き音程を確認しながら合唱練習をすることで音程がとれるようにする。 【3年社会】ロイロノートの思考ツールを活用し様々な国際問題についての学びを深める。
プログラミング	単純な繰り返しを含んだプログラムの作成や問題解決のためにどのような情報を、どのような時に、どれだけ必要とし、どのように処理するかといった道筋を立て、実践しようとするもの 等	【1年理科】定性分析のフローチャートを用いることで予測を立てながら水溶液について学ぶ。 【2年数学】思考ツールを用いて考えを整理しながら連立方程式についてまとめる。 【3年技術】マイクロビットを使ったプログラミングを行い、計測・制御による問題解決学習を行う。
情報モラル・情報セキュリティ	SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報手段に関する知識及び技能を身に付けるものや情報を多角的・多面的に捉えたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりするもの 等	【1年技術】動画やメクビットテストを活用し、情報モラル・情報セキュリティについて学ぶ。 【2年国語】ロイロノートを使い、記事を比較することで情報の信頼性について考える。 【3年理科】ネット詐欺やハッキング・個人情報の流出の危険性の動画等を見て科学技術と人間の関係について学ぶ。

<外部人材等との連携>



<活用する情報機器や学習支援アプリ等>

- ・タブレット端末 ・大型テレビ ・プロジェクター ・ロイロノート ・チームズ ・office365
- ・プログラミング教材 (マイクロビット) ・○○スタディ・ログ (振り返りツール)